

# 叙勲

令和5年11月3日、秋の叙勲の受章者が政府から発表され、町では新妻昌代さん（小田）と阿部和子さん（田代）のお二人が受章しました。



**瑞宝単光章**  
民生委員として地域に貢献  
**阿部和子さん**（86歳・田代）

阿部和子さんは昭和43年から35年にわたり、民生委員・児童委員として活動されました。この間、町民生児童委員協議会の副会長や社会福祉協議会評議員、理事などの要職を務め、町の社会福祉の向上に尽力されました。

温かい人柄で慕われ、現在も毎日のように近所の皆さんが自宅を訪ねて来るという阿部さん。「困ったときや自分一人ではできないことも、町民の皆さんや先輩の皆さんが助けてくださったので乗り越えることができました。皆さんのおかげでいただくことができた章だと思っています」と感謝を述べていました。



**瑞宝双光章**  
医療現場で長年の功績  
**新妻昌代さん**（70歳・小田）

昭和50年から看護師として働き始めた新妻昌代さん。昭和54年に国家公務員共済連合会横浜南共済病院に勤務し、平成22年からは看護部長として500人を超える看護師の先頭に立ち医療の現場を支えました。退職後の平成28年に町に移住し、現在は経験を生かして町保健委員協議会長や葛巻病院経営審議委員会の委員を務めています。

新妻さんは「信頼される看護を提供するためには確かな技術に裏付けられた優しさが必要だと思ってやってきました。章をいただいたことを嬉しく思い、共に働いた仲間や支えてくれた家族に感謝します」と話していました。

## 令和6年消防出初式

# 町民の負託に応える一年に



①堂々とした分列行進を披露する消防団員②訓示を述べる統監の鈴木町長③消防団員に一層の訓練を呼び掛ける向川原団長④整然と行進する婦人消防協力隊員



令和6年葛巻町消防出初式は1月7日、社会体育館を主会場に開催され、町消防団向川原徳志団長、町婦人消防協力隊（村中千鶴子隊長）など関係者約230人が参加しました。

統監の鈴木重男町長は、1月1日に発生した令和6年能登半島地震の犠牲者に哀悼の意を表すと共に「消防団、婦人消防協力隊の皆さんには町民の生命財産を守る大きな役割を果たしていただき感謝します。災害の無い町を目指し、今年一年町民の負託に応えていきましょう」と訓示しました。また、向川原団長は「能登半島地震の被災地の一刻も早い復興を願い、我々は一層訓練に励み技術を高めましょう」と団員の気持ちを奮い立たせていました。

その後、JRバス葛巻駅から葛巻小学校まで規律正しい分列行進を行い、地域の防災意識の高揚を図りました。



小屋瀬小6年生が企画

**酪農をテーマに熱演賞**



受賞作品  
(YouTube)

1月3日、岩手朝日テレビが主催する第21回ふるさとCM大賞で、町の応募作品「酪農から楽農へ」が30作品の中から「熱演賞」に輝きました。

今年の作品は小屋瀬小学校6年生4人が制作。総合学習で町の酪農を学んだ児童たちは、酪農ヘルパー制度や機械化で、きつい仕事というイメージが変わってきている酪農の現場を伝えようと企画しました。作品は方言を交えた生き生きとした演技が評価され「熱演賞」を受賞。岩手朝日テレビで年間50回放送されます。児童の皆さんは「経験したことがないことができた」、「小学校生活の良い思い出になった」などと喜び、笑顔を見せていました。



(左から) 田中亨校長、戸田結衣さん、中村諒さん、南館岳さん、東館結心さん、田村任顕教諭

## 町民憲章推進協議会

# 思いをひとつに新年交賀会

町民憲章推進協議会（中村哲雄会長）は1月4日、グリーンセンターで新年交賀会を開催し、町内の各団体や企業の代表者など約100人が参加しました。

葛巻プラスの山中義忠さん（新町）と金澤直子さん（岩手町）が軽快な演奏でオープニングを飾り、その後参加者は町民憲章を朗唱するとともに声高らかに町民歌を斉唱しました。

中村会長は「世界では戦争が、国内でも能登半島地震が発生し混乱を極めていきます。情報を共有して進むべき道を判断していきましよう」と呼び掛け、参加者は新年のあいさつを交わしながらまちづくりへの思いをひとつにしました。



△町民憲章を朗唱する参加者の皆さん④と恒例のワイン開き  
▷町民歌の伴奏をする葛巻プラスの2人

